

2026 年冬 TC 技術検定 3 級テクニカルライティング[TW] 記述試験の出題意図

テクニカルライティング試験の記述は、『日本語スタイルガイド』の第 2 編（2 章、3 章）、第 3 編、第 4 編をそれぞれの間の中心スキルにおいて 4 問出題されている。第 1 編、第 2 編 1 章のスキルは、出題の中にちりばめられている。問い方も、いくつかのパターンがある。代表的なものは、一塊の情報から、手順や利用方法などに書き直すもので、文体や主体を統一して記述する。穴埋めになっていることが多く、前後を見ながら最適な文章を入れる。また、テーマに即した一塊の情報から、指定された視点の箇所（文や語句）を見つけて、指摘したり、書き直すものである。さらに、元の情報と、書き直したもとのから、抜けている情報を見つれたり、2 つ以上の情報から新たな情報を書き足すといったものもある。いずれにしても、元の情報を読み込むことと、出題の意図を理解し（読解力）、合致するものを探し（論理的思考）、指定された形式で記述する（表現力）という、基本スキルを問うものである。

【課題 1】

足元用パネルヒーターの使用法のトピックが題材。使用法のトピックから手順の一部を執筆ルールに従って書き直す。さらに、表記が不適切な文が抽出されているので、それぞれ執筆ルールに従って書き直す。どちらも、カタカナ表記など執筆ルールに適合していない部分を丁寧に修正すれば解答できる。

【課題 2】

社内システムのログイン方法を 2 段階認証に変更する案内文が題材。一つ目は、重複表現を見つけ書き直す。二つ目は、事前に用意された「メモ」と一致しない内容や、誤解（別の意味にとられる）される文を見つけ書き直す。どちらも、条件に合ったものが見つければ、書き写しの間違いをしないよう、最小限の修正で書き直せば解答できる。

【課題 3】

公共の図書館サービスの利用案内文が題材。不安を感じさせる、通俗的な表現、略語、文語表現などを見つけ、別の表現で書き直す。また、案内文全体から最も重要な情報を書き出す。どれも、指摘する視点が何を指しているかわかれば、言い換えを考え解答できる。

【課題 4】

社内からの発注システムの案内文の目次構成をつくるのが題材。「機能概要メモ」と「注文手順案」から、すでに書かれたタイトルに合わせて、残りのタイトル（目次の見出し）を記述する。さらに各タイトルに、どの説明文を入れるか、記号で解答する。説明文は、すでに 1 個書かれているので、それに続くものを探す。タイトルは表記を統一すること、説明文はキーワードなどを頼りに、一つ一つ埋めていけば解答できる。